

## ワンポイントアドバイス

# より安全なお産をめざして

川口市立医療センター

産婦人科 いち かわ  
**市川 剛**



昨年の出生数が86万人という少子化が進む中、安全に周産期（妊娠が判明してから安全にお産をして出産後落ち着くまで）を過ごすことはより大切になってきました。妊娠前から健康的な生活をして子育ての環境を整えることは、そのための最初の一步になります。

川口市立医療センターで分娩を希望する妊婦さんは、妊娠反応が出て妊娠6週くらいになったら当科を受診するか（産科に限り紹介状はなくて大丈夫です）、近隣の医療機関を受診して当センターへの紹介状を出してもらうことになります。

当センターは、地域周産期センターとして正常分娩からハイリスク分娩まで幅広く受け入れ、年間約600件の分娩を取り扱っています。産婦人科には、1月現在、常勤医師6人、非常勤医師5人の計11人が勤務しています。24時間体制で産科医、新生児科医が常駐し、全ての妊婦さんに、安全・安心な周産期医療を提供しています。

助産師も常駐していますので、妊娠中から分娩、産後までの入院生活の中で不安なことや質問がありましたら、いつでもご相談ください。

